

# 廻館営農組合の概要

平成30年9月6日  
気仙沼農業改良普及センター

## 1 組織概要

- ①名称：廻館営農組合（集落営農組合）
- ②設立：平成28年3月15日
- ③組合員：14人
- ④組合長：西城 善昭
- ⑤設立経緯・組織形態

東日本大震災後、廻館工区の営農再開を希望する人たちによって設立された担い手組織。作付品目により専任担当制を取り入れ、組合員の中で役割分担を行っている。

水稲部門は、田植え組合員全員参加による共同作業、耕起や代かき、肥料散布、稲刈り等基幹作業は専任オペレーターによる作業、水管理、畦畔等草刈りは水稲栽培管理専任担当が行っており、露地や施設野菜の栽培管理は、野菜専任担当がそれぞれ品目ごとに行っている。

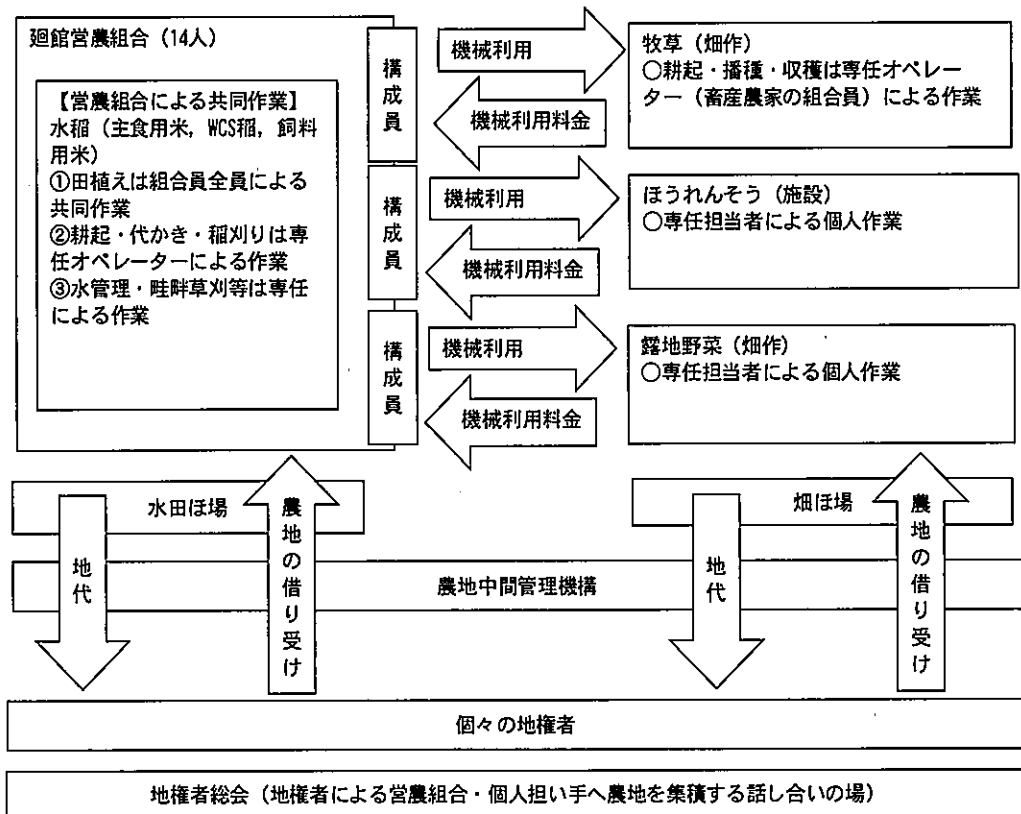


図 廻館営農組合の組織イメージ

## 2 作付計画

項目/年次	H28	H29	H30	備考
水稻(主食)	—	2.3ha	2.3ha	
水稻(WCS)	—	4.0ha	1.0ha	
水稻(飼料)	—	—	4.0ha	
施設ほうれんそう	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡	
露地野菜	はくさい ブロッコリー	ブロッコリー	とうもろこし	湿害のため収穫なし (H28~30)

## 3 施設・機械概要

品目共通   トラクター

ロータリー, マニュアルレググー, 土づくり・肥培管理等トラクタ・アタッチメント

水稻用

田植機 6条1台

育苗パイプハウス 415㎡・1棟

背負式動噴

コンバイン 4条1台

ライスセンター 一式

ロータリー, 代かきハロー, マニュアルレググー等トラクタ・アタッチメント

野菜用

ほうれんそうパイプハウス 2,368㎡・2棟, 888㎡・1棟

育苗パイプハウス 554㎡・1棟

乗用型苗定植機 1台

畑地用乗用型防除機 1台

中耕管理機

畝立機, 中耕・培土機, 土づくり・肥培管理用トラクタ・アタッチメント

牧草・WCS用   フロントローダー 1台

モ7, 集草機, ロールバラー, ラッピングマシン, トレーラー等トラクタ・アタッチメント

## 4 普及センターの支援体制

平成27年度と28年度はプロジェクト課題「ほ場整備地区担い手組織の運営安定」の中で、廻館工区の農地の所有者による復旧・ほ場整備後の農地の利用・継続的な維持管理方法、担い手組織の設立・組織形態の検討に向けた話し合いでの支援を行った。

平成29年度からは「集落営農組織の経営体質強化による地域営農体制の構築」の中で、営農再開初年目以降の栽培技術、組織運営・経営管理面での課題解決に向け幅広く支援している。